

プロジェクトKIZUKI

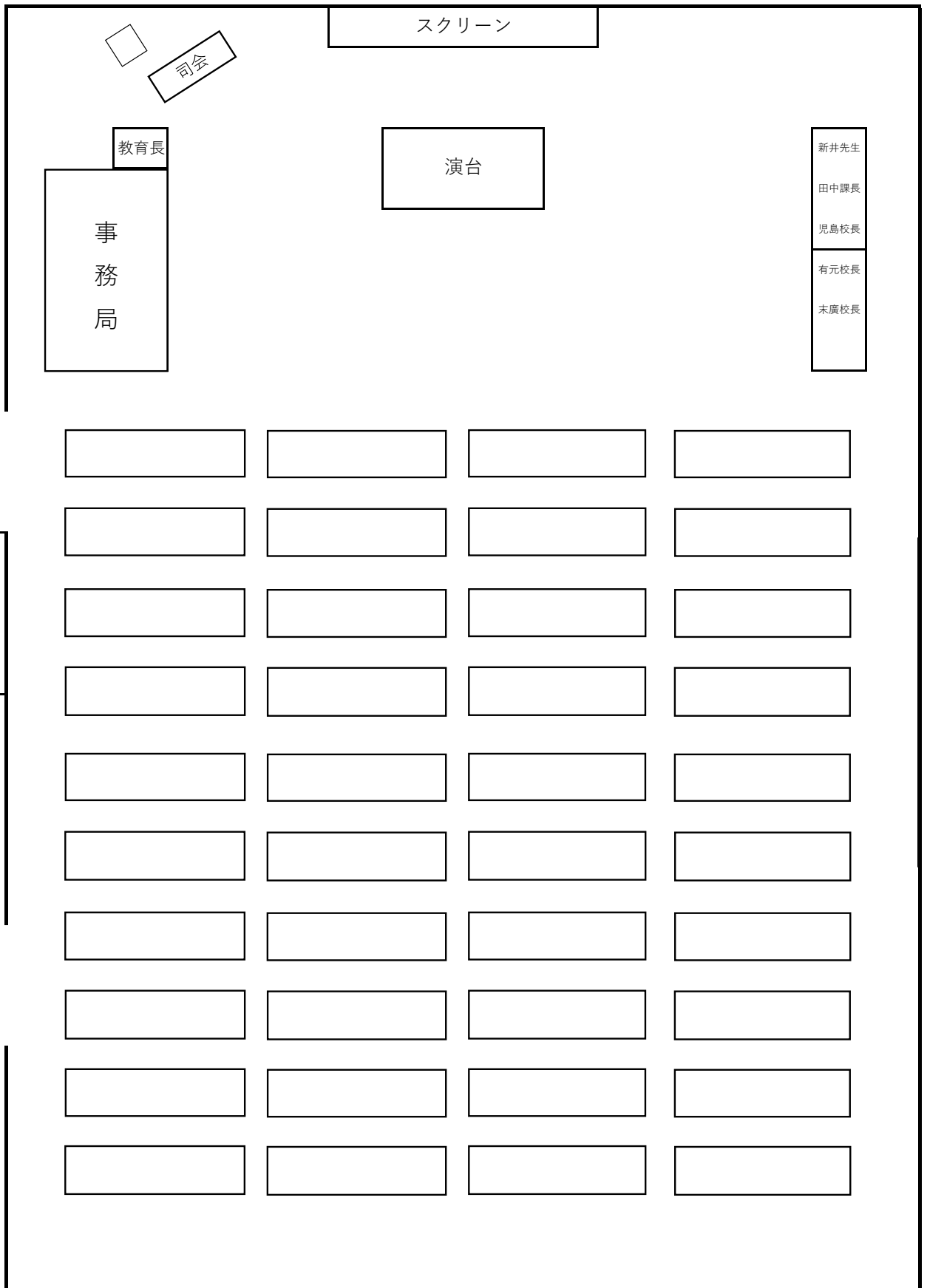
キックオフフォーラム

資料



フォーラム会場図

岡山県医師会館 4F 401 会議室



タイムスケジュール

		時間	内容
午後	4 F 4 0 1 会 議 室 ・ オ ン ラ イ ン	受付	12:30 参加者受付開始
		開会式	13:00 開会行事
		全体説明	13:10 KIZUKIについて
		講演	13:20 発達支持的生徒指導の背景と重要性について
		休憩	13:50
		【パネルディスカッション】	14:00 登壇者紹介
			岡山御津高等学校での実践
			中央中学校での実践
			鶴山中学校での実践
			摂津市教育委員会での実践
			ディスカッション
			質疑応答
			まとめ
		休憩	15:30
ワークショップ	15:40 児童生徒の声に基づく魅力ある学校づくり RV-PDCAによる改善サイクルについて		
振り返り	16:00 参加者による振り返り（オンライン含む）		
閉会式	16:20 閉会行事・諸連絡		



プロジェクトKIZUKI キックオフフォーラム

13:00～開会

- ・ 座席は前からつめてお座りください。
- ・ 配付資料はありません。必要に応じて当課HPよりダウンロードしてください。



プロジェクトKIZUKI キックオフフォーラム

2026年5月21日
主催 岡山県教育委員会

想
い

KIZUKI
「気づき」と「築き」



「気づき」

日々の関わりの中にこそ、児童生徒の成長を支えるための「ヒント」があることに気づく

「築き」

教職員と児童生徒の信頼関係を築き、学校と保護者・地域が一体となった持続可能な取組の基盤をつくる



目指す未来

「誰もが通いたくなくなる魅力ある学校へ」

教職員一人ひとりが児童生徒の成長を支える関わりへと転換することで、児童生徒自らが学校をより良くしようと動き出す基盤を築く

児童生徒の成長の兆しに気づき、同僚と共有しながら組織で支え合う文化を築く

信頼関係をベースにした指導体制を築くことで、学校全体が安全・安心な場所へと変化





「発達支持的生徒指導」の背景と重要性について

関西外国語大学 教授 新井肇 氏

(生徒指導提要の改訂に関する協力者会議 副座長)

パネルディスカッション

14:00～15:30

テーマ「発達支持的生徒指導の進め方」

登壇者

大阪府摂津市教育委員会	学校教育課	課長	田中大介
津山市立鶴山中学校		校長	児島みどり
津山市立津山東中学校		校長	有元満治
岡山県立倉敷青陵高等学校		校長	末廣聡
岡山県教育庁人権教育・生徒指導課		課長	高橋典久

ファシリテーター

関西外国語大学 教授 新井肇



Webサービス【Slido】を使って

参加者と登壇者で双方向のコミュニケーションを行います

- ・パネリストへの共感や質問
- ・みなさんへ問いかけたい思いや考え
- ・パネルディスカッションの感想

など送信してください。



【オンライン用】

教職員と生徒の関わり方

○実態

- ・やや古い生徒指導により、生徒が学校不適應を起している
- ・生徒の実態に合った学校運営ができていない
- ・選ばれない学校になっているのではないか

○目的

- ・在校生の学校満足度向上を目指す
- ・入学する生徒に合わせて学校を変える

教職員と生徒の関わり方

○取組

- 例「今日もよく来たね」発達支持的生徒指導
- 例「あなたはそれでいいんですか？」主体性、自己決定の尊重



- 教員研修
 - 「行きたくなる学校づくり」の方向性の共有
 - 教員による演習を主とした研修

岡山御津高

教職員と生徒の関わり方

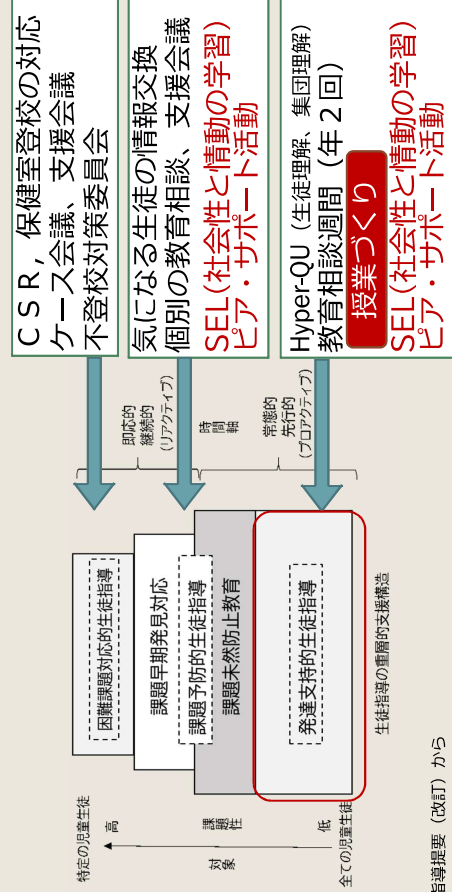
○成果

- 入学生、中学校から高評価
- 入学生の増加（学校ニーズの創出）
- 在校生の主体性の上昇
- 学校の信頼の回復

岡山御津高

R6～新たなステージへ 生徒にとって「魅力ある」学校へ

方針：生徒指導提要在す 2軸3類4層の考え方に基づいて取り組む



生徒指導提要在 (改訂) から

魅力ある学校づくり～自己有用感の育成～計画

学期	月	学校行事	推進部課長	1サイクル目	2サイクル目	3サイクル目
1	4月	授業参観、入学式、新入生オリエンテーション、校歌新行	上席：推進部課長	10日 10時開始 (4.5分)		
	5月	20日 10時開始 (4.5分)	下席：推進部課長	10日 10時開始 (4.5分)		
	6月	17日 10時開始 (4.5分)	上席：推進部課長	10日 10時開始 (4.5分)		
	7月	17日 10時開始 (4.5分)	上席：推進部課長			
	8月	17日 10時開始 (4.5分)	上席：推進部課長			
	9月	17日 10時開始 (4.5分)	上席：推進部課長			
	10月	17日 10時開始 (4.5分)	上席：推進部課長			
	11月	17日 10時開始 (4.5分)	上席：推進部課長			
2	12月	17日 10時開始 (4.5分)	上席：推進部課長			
	1月	17日 10時開始 (4.5分)	上席：推進部課長			
	2月	17日 10時開始 (4.5分)	上席：推進部課長			
	3月	17日 10時開始 (4.5分)	上席：推進部課長			
	4月	17日 10時開始 (4.5分)	上席：推進部課長			
	5月	17日 10時開始 (4.5分)	上席：推進部課長			
	6月	17日 10時開始 (4.5分)	上席：推進部課長			
	7月	17日 10時開始 (4.5分)	上席：推進部課長			
3	8月	17日 10時開始 (4.5分)	上席：推進部課長			
	9月	17日 10時開始 (4.5分)	上席：推進部課長			
	10月	17日 10時開始 (4.5分)	上席：推進部課長			
	11月	17日 10時開始 (4.5分)	上席：推進部課長			
	12月	17日 10時開始 (4.5分)	上席：推進部課長			
	1月	17日 10時開始 (4.5分)	上席：推進部課長			
	2月	17日 10時開始 (4.5分)	上席：推進部課長			
	3月	17日 10時開始 (4.5分)	上席：推進部課長			

部会活動の目的：授業がよくわかる、落書きの減らし、読書の楽しさを味わう。(読書率：16.6%、見返し率：25.6%、2/3以上2/16)



「具体的な手立て」のリスト化

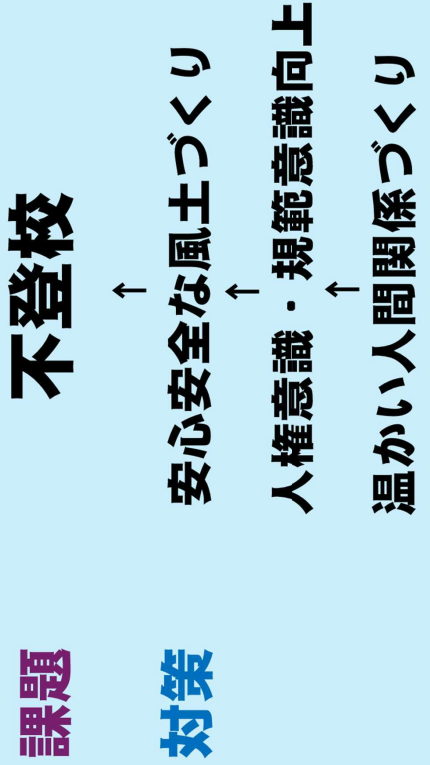
【本校の取組方針】
 1. 全員の学びの機会を確保し、小学習者づくり。
 2. 全員の学びの機会を確保し、小学習者づくり。
 3. 全員の学びの機会を確保し、小学習者づくり。

実施事項	具体的な手立て
授業活動	<ul style="list-style-type: none"> ① 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ② 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ③ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。
（備考）	<ul style="list-style-type: none"> ④ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ⑤ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ⑥ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。
授業活動	<ul style="list-style-type: none"> ⑦ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ⑧ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ⑨ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。
授業活動	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ⑪ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ⑫ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。
授業活動	<ul style="list-style-type: none"> ⑬ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ⑭ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ⑮ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。
授業活動	<ul style="list-style-type: none"> ⑯ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ⑰ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ⑱ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。
授業活動	<ul style="list-style-type: none"> ⑲ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ⑳ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ㉑ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。
授業活動	<ul style="list-style-type: none"> ㉒ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ㉓ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ㉔ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。
授業活動	<ul style="list-style-type: none"> ㉕ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ㉖ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ㉗ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。
授業活動	<ul style="list-style-type: none"> ㉘ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ㉙ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ㉚ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。
授業活動	<ul style="list-style-type: none"> ㉛ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ㉜ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ㉝ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。
授業活動	<ul style="list-style-type: none"> ㉞ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ㉟ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ㊱ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。
授業活動	<ul style="list-style-type: none"> ㊲ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ㊳ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ㊴ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。
授業活動	<ul style="list-style-type: none"> ㊵ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ㊶ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ㊷ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。
授業活動	<ul style="list-style-type: none"> ㊸ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ㊹ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ㊺ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。
授業活動	<ul style="list-style-type: none"> ㊻ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ㊼ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ㊽ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。
授業活動	<ul style="list-style-type: none"> ㊾ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。 ㊿ 授業活動の時間配分を確保し、小学習者づくり。

それぞれの授業実践をベースにして作成している。他者の工夫や実践を知り吸収することができる。重点的に取り組むことを確認して共通実践とする。

「誰もが行ききたい学校」をめざして

津山市立鶴山中学校



鶴山Festival



地域とともに ~つるやま かふえ~



学校が楽しい
 自分には良いところがある

R5 R6 R7
 65% → 85% → 90%

80% → 86% → 87%

大阪府摂津市がめざす『魅力ある学校づくり』(こどもの発達を支える生徒指導に関する調査研究事業)

目的
 子どもが自治する(教職員がいなくても、子どもたち自身で課題解決できる)学級・学校をつくる。
 →主体性や意欲の向上により、いじめ、暴力行為等の問題行動や新規不登校の未然防止につなげる。

研究テーマ
 『児童生徒の主体的参画等、生徒指導との関連を意識した特別活動の充実による魅力ある学校づくり』

めざす姿
 『子どもが自治する学級・学校』
 『主体的で協動的な活動を通した「絆づくり」』
 『子どもが安心して、自己存在感や充実感を感じる「居場所づくり」』

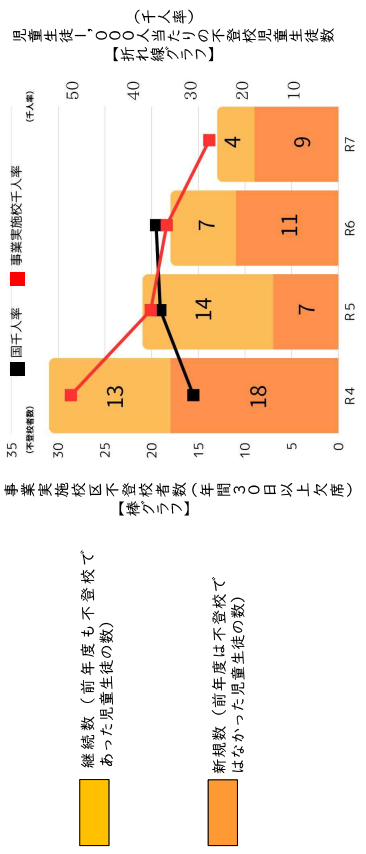
取り組み時のポイント
 『主役は子ども』
 『子どもの自発的、主体的な発達を尊重する。』
 ・子どもを信じて委ねる。
 ・子どもが互いに、認め合うことで「自己有用感」に裏づけられた「自己肯定感」を高める。
 ▶ 子どもが互いに、認め合うことで「自己有用感」に裏づけられた「自己肯定感」を高める。

※自己有用感:「人の役に立った」と感じた時に生まれる、自己に対する肯定的な評価

子どもが考え、決める

教職員は**目的に沿っている**かに立ち返らせながら子どもたちの「やりたい」を支える

成果①教職員が「子どもに委ねる」ということに自信を持てた
 成果②不登校児童生徒数の減少



子どもが自治する学級・学校づくりに向けて



パネルディスカッション

14:00～15:30

テーマ「発達支持的生徒指導の進め方」

- 登壇者
- 大阪府摂津市教育委員会 学校教育課 課長 田中 大介
 - 津山市立鶴山中学校 校長 児島 みどり
 - 津山市立津山東中学校 校長 有元 満治
 - 岡山県立倉敷青陵高等学校 校長 末廣 聡
 - 岡山県教育庁人権教育・生徒指導課 課長 高橋 典久

ファシリテーター
 関西外国語大学 教授 新井 肇



「児童生徒の声に基づく魅力ある学校づくり
～RV-PDCAによる改善サイクルについて」

岡山県教育庁人権教育・生徒指導課

課長 高橋典久

テーマ 「本フォーラムを通して得た
明日から使える[気づき]について」

- ・ 気づいたことの共有、明日から実践してみたいこと
- ・ 気づいたことによる新たな疑問、意見交換
- ・ すでに実践していたことの情報交換
など



ご参加ありがとうございました

最後にアンケートにご回答ください



メモ

事後アンケートにご回答ください



事後アンケート



project «KIZUKI»